



さいたま市議会議員（中央区）

たけこし連 NEWS 12月議会報告

No. 26



12月20日、12月議会本会議最終日、党市議団を代表して議案と請願の討論に立ちました。今議会の主要議案についての討論を一部、紹介します。

2019(令和元)年12月議会 採決表

	共産	民主改革	自民	公明	国民高野
令和元年度さいたま市一般会計補正予算（第7号）	×	○	○	○	○
市長等特別職の給与に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○
さいたま市文化会館条例の一部改正	×	○	○	○	○
国家標準単位化による保健師業務の統一はやめ教員負担の軽減を求める	○	×	×	×	×
ゆきとどいた教育をすすめるための30人学級実現を求める	○	×	×	×	×

（賛成○ 反対×） 市市長選出議案 59件のうち54件に賛成（92%）、5件に反対（8%）

12月議会、会派を代表し討論

・さいたま市議会議員の期末手当を引き上げる条例について

冒頭、私たち日本共産党さいたま市議団は期末手当の引き上げには反対であることを表明した上で、議案の審議の中で①修正案で施行期日を令和3年4月1日まで延期し、実質的には期末手当の増額分を議員が受けないことがないこと。②この条例の議決によって、施行日前に期末手当の取り扱いについても改めて議論すること。③今回の増額分の予算は台風19号被害からの復旧復興に使うことを求める付帯決議がついたこと。この3点が確認できたので賛成しました。

また今後、②に基づいた「期末手当についての審議」が開始された際には市議団として「引き下げや適正な報酬に戻す措置を提案する」とも表明しました。

・市長等特別職の給与に関する条例の一部改正について

市長、副市長の期末手当を引き上げるこの議案、議員の期末手当のような措置が全くありませんでした。市長の報酬はこの10年で年取ベースで133万円増。

その一方で市民の平均給与所得は10年前比で9万円減。65歳以上の平均年金所得は10年前比で18万円減。消費税はこの10年で5%から10%へと倍になっていることを指摘し、「市民のくらしが向上かない中で、何の措置もなく期末手当を引き上げることは道理がない」と主張し、反対しました。

・さいたま市文化会館条例の一部改正について

市民会館うらわを浦和駅西口南高砂の再開発ビルに移転する条例。審議の過程で①今ある場所に市民会館うらわを建て替えた場合は約70億円の費用で済むのに対し、再開発ビルに移転した場合は120億円の費用がかかる②市民が市民会館を利用できない期間が1年以上伸びてしまうこと③現在の場所で築いてきた文化の継承が難しいこと。この3点を主張し、反対しました。

議案外質問「防災対策、3提案」



総合政策委員会の議案外質問では、台風19号の教訓を最大限に生かすため、**防災対策に絞り、3つの提案を行いました。**



提案① 地元業者団体と防災協定の締結を

台風19号復旧に取り組むボランティアの方から「復旧に取り組む過程で専門業者を紹介して欲しいと行政や社協に要望すると『自分で探して欲しい』と言われた」と聞き取りをしたことがきっかけで質問。復旧復興を一刻でも早く進めるために、地元業者団体と防災協定を結ぶことを提案しました。

その後、台風19号特別委員会の提言文書へ反映されました。

提案② 避難所でTVを見られる体制を

竹俵 台風19号の際に開設された避難所は199箇所。そのうち、TVを見ることができた避難所はあったのか？

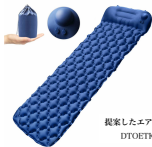
市 避難所への情報提供を目的とした設置、備蓄したTVはなく、19号の際に開設した避難所でTVで情報提供した避難所はない。

竹俵 TVがある避難所では見る体制を整えること。TVがない避難所は民間放送事業者等との協定を生かし見る体制を整えること。この2点を要望する。

市 提案については最大限の努力をしていきたい。



上田市で使われたファミリーパーテーション



提案したエアマット D'TOETKDより

提案③ ファミリーパーテーションとエアマットの備蓄を

＜ファミリーパーテーションについて＞

竹俵 長野県上田市では2日間の避難所設置に関わらずファミリーパーテーション（写真）を設置した。本市でも備蓄できないか。

市 防災倉庫の備蓄スペースに限りがあり、国からのプッシュ型支援（物資調達）や民間業者からの調達で要望したい。

＜エアマットについて＞

竹俵 市は3万5900枚のエアマットの備蓄を始めたが、備蓄先は防災拠点倉庫。これでは短期避難の際にエアマットを使えない。短期避難の際でも使えるように指定避難所に備蓄できないか。

市 エアマットについては、スペースを取らない部分もあるので、検討したい。



さいたま市議会議員 (中央区)

たけこし連 NEWS

地域要求編

No. 26

台風19号特別委員会



市に対して「提言」を提出

台風19号被害の教訓を生かすため、立ち上げた「台風19号災害対策調査特別委員会」は12月議会において市長、市に対して「提言」を提出しました。日本共産党からはたけこし連と久保みき議員(桜区)が委員として参加。党市議員に寄せられた意見なども提言に反映することができました。

提言全文はさいたま市ホームページで確認できます。

「提言」でまとめられた主な内容

- ・河川、排水路、調節池等の治水対策の推進
- ・交通事業者と移送に関する協定締結
- ・市HPの改善、防災無線の改善
- ・ペットの同行避難の基準整備
- ・被害の本庁、行政区等との情報共有
- ・ボランティアの調整や被災者ニーズのマッチングの整備など11項目を提言

与野体育館前に設置されている アスベスト含有モニュメント撤去へ



与野体育館前のモニュメント(左)現在はドールで覆われている

アスベスト被害軽減をうたえるNPO団体の方々や区内フィールドワークをした際に発見したアスベスト含有のモニュメント。このモニュメントは発じん性の低いレベル3ですが、仮に震災などの災害で倒壊した際にはアスベストが飛散することになります。

その危険性を考慮し、市に対して、撤去を要請したところ、市からは「撤去する」との回答がありました。フィールドワークでは他にもアスベスト含有の物体を発見したので順次撤去を要請していきます。

大戸2丁目 県に続き市も治水対策を実施



←県への要請風景
↓排水管のクラック (市提供)



台風19号の際、「下水が逆流し、汚水が道路に溢れ出ている」「翌日はトイレレットペーパーが道路に張り付いていた」状況だった大戸2丁目。

市に対して聞き取りを行うと「下水の逆流を防ぐためには、水量が排水の処理能力を超えないことが重要」とのこと。今回の下水逆流は想定外の雨水に加えて鴻沼川から溢れ出した水が下水管に流れ込み処理能力を超えたことが一因になっています。

そこで少しでも水量を抑えるために、水漏れをしていた護岸改修を埼玉県に対して要請したところ、県から「今年度中に護岸改修工事を行う」と回答がありました。

さらに先日、市の担当課からも「下水管を調査したところ、何箇所かにクラック(亀裂)を発見した」との報告がありました。今後、このクラックの修繕工事を行うことを明示してくれました。

上落合3丁目 水道管バイパス工事へ調査実施

上落合3丁目13付近は長年、大雨が降るとトイレが使用できなくなる状況が続いていました。地域の住民から「台風19号の時は下水が逆流して、汚水が溢れ出てきた」「大雨の時はトイレが使えなくなるので、イオンまでトイレを借りに行った」などの声が寄せられていました。

私も現地で聞き取り調査などを行い、市に対して対策を要望してきました。すると先日、市から「現在対策を検討している」と報告が。対応策は①下水管にバイパス管を通し、排水量を強化する(下記の地図参照)②水位の低い排水管を特定し、空気がたまらないよう空気マスを設置すること。この2点です。

今後、調査を行い、2つの対応策の実施調査を行う予定です。



上落合3丁目の調査箇所→
↓大戸2丁目の改善箇所



毎週水曜日は生活相談
第3水曜日は弁護士同席の無料法律相談
(要予約)

たけこし連 事務所
さいたま市中央区下落合5-10-3
TEL 080-7318-8139



日本共産党さいたま市議団

さいたま市浦和区常盤6-4-4(さいたま市議会内)
TEL 048-829-1811/FAX 048-833-8165
ホームページ: <http://www.jcp-saitama.jp/>